

神戸町立下宮小学校で防災講座を行いました

令和4年9月8日（木）、神戸町立下宮小学校で6年生29名に防災講座を行いました。

学校の近くには揖斐川が流れ、講座では、この地域で被害があった伊勢湾台風、9.12豪雨、平成14年台風6号など過去に発生した水害を学んだ後、映像で浸水を疑似体験して頂きました。また、ハザードマップは知っていても、予想される浸水深まで確認していない児童がほとんどで、自宅の浸水深を資料で確認して頂きました。最後には、交流タイムとして、講座を聞いて備えるために大切にしたいことや、これから活かしたいことなどを、ペアでお互いに話し合いました。児童からは、「VRの映像で、ドアが開かなくなったり逃げ場がなくなったので、少しでも早く安全な所へ避難したい」、「避難情報が出る前に自分で情報を早めにとって、早く避難したい」、「備えることは事前のできるの、非常食を準備したり、避難場所を家族と話し合いたい」などの感想がありました。

今回の防災講座が、児童の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

なお、本講座は中日新聞・岐阜新聞・大垣ケーブルテレビに取材頂きました。

